

## ぶどう棚修理手順

- ① 園内の果樹を角材などで上げて、棚に負担の無い位にしておく（太い木は出来るだけ上げたらパイプで補強する）
  - ※パイプは木を切るまで取らないので草刈り機とSSが通れるか要確認（靴石で埋まらないようにする）
- ② 幹線に付いているAマスト or Cマスト吊り線と幹線にズレ防止に付いている巻き付けクリップを取る。（短梢剪定の場合、幹線に吊ってある紐も）
  - ※吊り線を取ったら近くの木や小針線に軽く付ける（幹線に当たらないように）
  - Aマストが転ばないように注意
- ③ 一番太い柱の（隅柱）から縦アンカーラインと横アンカーラインの交わる所に、隅柱の頭が来るように、隅柱全部の靴石を調整する（外に出したい場合、石 or 市販のコンクリートブロックを入れる）
  - ※靴石より幅の広い物の方がいい
  - ※靴石の入っていた地面を、園内側には削らない
- ④ ③が終わったら沢山ある周囲柱を縦横どちらでもいいので、まず真ん中をやり、さらにその半分の真ん中を行う（基準になるため正確に行う）基準を見ながら一本おきに行う（調整の仕方は、隅柱のやり方と一緒に）
  - ※基本はアンカーの上に周囲柱の頭が来るようにするが、アンカーが真っ直ぐな園地は少ない
  - ※出っ張りや引っ込みがある場合は少し変化あり
  - ※短梢剪定で丁張り線がついている場合、丁張り線は取っておく
- ⑤ ④が終わり幹線の張れが確認出来たら、幹線に巻き付けクリップを付ける
  - ※幹線が真っ直ぐなのを確認しながら
- ⑥ Aマスト or Cマストの靴石を地面から出して、Aマスト or Cマスト柱の吊り線を付け水平を見る（水平機を使う）
  - ※隅柱に近いAマストから一本ずつ行う
  - ※②の吊り線が邪魔で柱が幹線に付かない場合は②の吊り線を緩める
- (1) Aマストの一番遠い四隅から（柱に付けるAマストの場合は、隅柱＞周囲柱＞幹線の優先順位で行う）
  - ※水平は測ってあるので、付けるときはAマストの頭が動くか動かないか位の強さで引っ張り付ける
- (2) 四隅が終わったら柱を優先してAマストの外側から付ける
- ⑦ ⑥が終わったら角材を取って完成（短梢剪定の場合丁張り線を付ける※丁張り線は強く締めると幹線が緩む為、強く締めないこと）